

## テクノエーピーと日立GEがシンチレーションファイバを利用したガンマ線空間線量当量率測定システム「D-phod」の販売で合意。

株式会社テクノエーピーと日立GEニュークリア・エナジー株式会社は、このたび、シンチレーションファイバ\*1を活用し、最大20m長さのガンマ線空間線量当量率(以下、空間線量率)を数秒間で測定できるシステム「D-phod(ディー・フォッド)」を開発し\*2、テクノエーピーが5月25日から販売を開始することで合意しました。

\*1 シンチレーションファイバとは、放射線に反応して発光する光ファイバ

\*2 本システムの開発には、日立GEの開発取り纏めのもと、株式会社テクノエーピーは信号処理回路等、レモジャパン株式会社はシンチレーションファイバのバンドル化等、株式会社クラレはシンチレーションファイバの供給をそれぞれ担当しています。

2012/05/24 日経プレスリリースより

## 除染作業：線量測定時間を大幅短縮

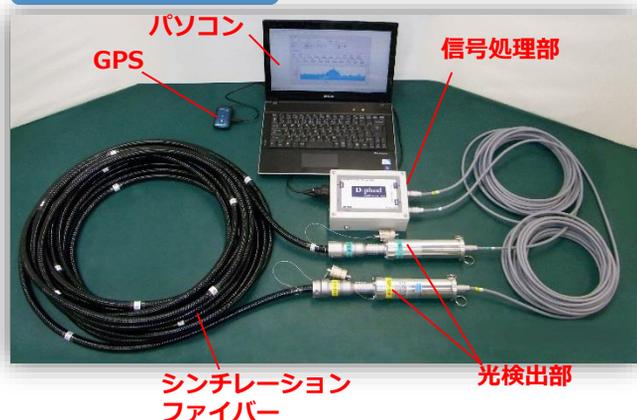
従来方式：サーベイメータによる多点測定

新方式：線状スキャンング測定により面測定を実現

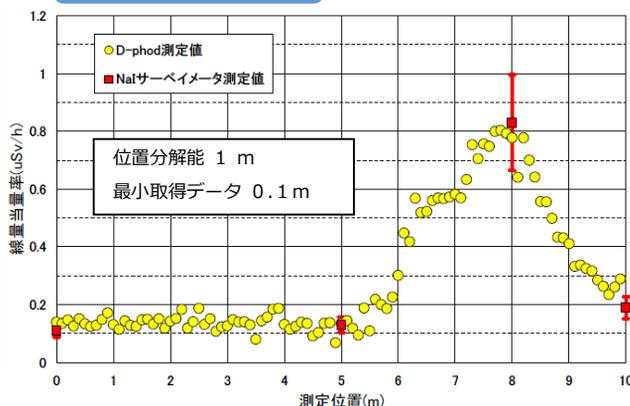
最大20m線状の空間線量率分布を数分で高速測定

GPS連動による広域線量率マッピング表示が可能\*3

### システム構成



### 線状測定結果



樹木側面の空間線量当量率測定の様子

項目	仕様 [型式: DP100]
測定線種	ガンマ線
検出器	プラスチックシンチレーションファイバ (PSF)
測定上限*4	低感度型: ~約120 μSv/h (PSFバンドル1本) 重量1.5kg 標準型: ~約16 μSv/h (PSFバンドル7本) 重量2.5kg 高感度型: ~約8 μSv/h (PSFバンドル12本) 重量4kg
測定長	5m / 10m (標準) / 15m / 20m (最長)
光検出部サイズ	L = 160, φ 49, 重量580g
信号処理部サイズ	180mm[W] × 130mm[D] × 60mm[H], 重量550g
電源	パソコンのUSB電源から給電 (350mA / 5V)
稼働時間	連続4時間以上: パソコンに指定外部バッテリー使用時
GPS精度	5m

\*3: マッピングソフトは別会社の取扱いとなります。

\*4: 標準 PSF 長さ(10m) の線量当量率測定上限。PSFの長さによって測定上限は変わります。

※記載内容は予告なく変更することがあります。